

平成18年4月11日

各 位

東京都中央区銀座2 - 10 - 6
中越パルプ工業株式会社

「木材原料の調達方針」の策定について

当社は、平成5年に「環境に関する基本方針」を制定し、“地球的視点に立って、「環境にやさしい企業活動」を基本に、地球規模での環境保護と持続的発展が可能な豊かな社会の実現を目指して努力すること”を環境理念として掲げております。その行動指針には、“森林資源の育成と保護”が明記され、これまでも植林木使用比率の向上や植林事業を推進し、木材資源の有効利用に努めてきました。

このたび、世界的な森林保護の高まり、本年4月1日施行の改正グリーン購入法等の社会的要請に応えるべく、別紙のとおり「木材原料の調達方針」を策定しました。

当社は、今後も引き続き「環境にやさしい企業活動」を目指し、循環型社会の形成、持続可能な社会の実現に寄与するよう取り組んでまいります。

以 上

木材原料の調達方針

中越パルプ工業株式会社

< 理念 >

木材原料の調達に当たっては木材資源の有効利用を念頭に置き、法令遵守且つ持続可能な森林経営が行われている森林からとし、森林資源の保護と育成に努める。

< 調達指針 >

1. 森林資源の保護育成と地球環境への貢献

再生可能な資源である森林を保護育成し、健全な林産業経営を営んでいるソースからの調達を通じて地球環境及び地域経済への貢献を目指します。

2. 合法性の遵守と持続可能性の維持

現地の法律や規則を遵守し持続可能な森林経営が営まれている森林から生産された木材のみを原料として使用します。(違法伐採材は使用しません)

3. トレーサビリティの確保

木材の合法性、持続可能性を確認するシステムを構築、安全な原料の調達に努めます。

4. 森林資源の有効利用

製材残材、間伐材、家屋解体材等の木質原料を積極的に利用し、資源の有効活用に努めます。

5. 植林事業の積極推進

植林事業を積極的に推進するとともに、植林木原料比率を高めてゆきます。

6. 森林認証システムの積極活用及び推進

森林認証システムを積極的に活用し、高保護価値林が保護され、伝統を守る権利または市民権が侵害されていない、適切に管理された森林から生産された木材の調達に努めます。

7. 情報の公開

木材原料調達ソースの情報を開示します。

< 資源の有効利用の取組み例 >

資源保護、有効利用の観点から廃材・非木材パルプの利用を積極的に進めており現在次の取組みを継続中であります。

(1) 非木材繊維の利用

竹林の多い鹿児島県北西部において森林への侵食、生態系の破壊に繋がる高密度竹林の整備、さらには地元竹の子生産農家への貢献の観点から間引きした老齢竹を積極的に使用して竹パルプを生産、「竹入紙」を生産している。

(2) 廃材の有効利用

群馬県尾瀬国立公園において東京電力と協力し、毎年の架け替え工事にて産出する木道廃材を原料として利用、紙(尾瀬の木道エコペーパー)として再生させ廃棄物処理に貢献している。